

第5次京都府食育推進計画の主な論点について

1 これまでの取組結果から引き続き行うべきことや強化すべきことは何か。

(1) 家庭における食育の推進

- ・朝食を毎日食べる府内小・中学生の割合の低下に対しては、学校での取組は継続しつつ、家庭へのアプローチが必要
- ・大人（特に若い世代）の食事バランスの乱れ、朝食摂取率の低下に対して様々なツールを利用した啓発が必要

(2) 学校、保育所、幼稚園等における食育の推進

- ・学校給食における地場産物利用の伸び悩みに対して、地元産物の理解促進の取組の拡大が必要
- ・食育先生による体験型食育は一定の成果が出ているなか、より効果的な取組となるよう、方法、内容の共有や見直しが必要

(3) 地域における食育の推進

- ・食育推進計画作成市町村数の更なる向上を目指すとともに、きょうと食育ネットワークと連携した取組の展開が必要

2 新たな課題として取り組むたいが、その観点はどうか。

(1) 大人の食育について取り組むため、新たに企業との取組を進めたいがどうか

(2) 食育の新たな可能性として、将来の農林水産業・食品産業の担い手確保や適正な価格形成への理解促進を食育に内包させた取組を進めたいがどうか